

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No.24)				
予算等事業名	特色ある学校教育プラン推進事業							
目的	児童・生徒が創意あふれた学習活動を展開するために、地域教育力の活用、教材研究、各種研修会の充実、幼児期から学校教育への円滑な接続と指導法の改善に努める。							
内容	・二宮町学びづくり推進研究事業補助金、特色ある学校教育プラン推進事業補助金の活用							
根拠法令・条例等	特色ある学校教育プラン推進事業補助金要項 かながわ学びづくり推進地域研究委託事業							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		教育機関である学校の運営や教育活動の根幹をなす研究事業に対する経費のため。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		各校で年間スケジュールに沿って計画的に事業を執行している。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	【説明】 二宮町学びづくり推進研究事業では、指導案検討から授業実践、学習会に至る研究サイクルが確立され、授業改善への取組が強化されている。		

総合評価

実績	二宮町学びづくり推進研究事業では、指導案検討から授業実践、学習会に至る研究サイクルが確立され、授業改善への取組を強化することができた。			
中間評価との相違点				
事業指標(数値指標)	特になし			
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	教員の授業力向上、学校の特色を生かした学校運営

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,230	1,230	1,175			
財源内訳	一般財源	1,230					
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

## 事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 事業主体が町立学校であるため。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 事業主体が町立学校であるため。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 各校における研究サイクルが確立され、他校の研究授業にも参加する機会が増えた。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 各校に講師謝礼等研究にかかる経費を配分し、適切に執行された。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 各校の研究サイクルが確立され、教員の授業力向上に向けた取組を前進させることができた。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	平成29年度から本格化する小中一貫教育を各校の主要テーマとする。 特色ある学校教育プラン補助金について、各校の実情に合わせた予算内訳とする。	

## ◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	平成29年度から小中一貫教育の研究が始まったため。		
今後の方向性	これまでの「二宮町学びづくり推進研究事業」で得た研究成果や小中学校の連携を活かし、小中一貫教育の研究につながる研究に移行していく。		

# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No.24)				
予算等事業名	地域教育力推進事業							
目的	児童・生徒が創意あふれた学習活動を展開するために、地域教育力の活用、教材研究、各種研修会の充実、幼児期から学校教育への円滑な接続と指導法の改善に努める。							
内容	・体育・文化活動指導員、学習協力者の活用							
根拠法令・条例等	地域教育力推進事業実施要項 学習協力者派遣事業実施要項							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	各校で、配当された予算内で外部講師を手配しており、地域の方には学校の学習活動ということで、薄謝にてご指導いただいている。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	今後、コミュニティ・スクールの指定が開始されると、学校と地域との新たな結びつきを基礎に、効率化が進む可能性がある。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		B
	【説明】 当事業を契機に、より一層地域の人材発掘を進めていく必要がある		

## 総合評価

実績	各校に体育・文化活動指導員、学習協力者を配置した。		
中間評価との相違点	概ね各校に指導員、協力者を配置できたが、各校が希望する人材を確保することが困難な面があった。		
事業指標(数値指標)	特になし		
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	各校の指導員、協力者の人数、時間数等は町教委から各校に年度当初に割り当てを行っているため、数値による指標の設定は困難である。		

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,072	1,012	1,072			
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

## 事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 町立学校における学習活動に必要な事業のため。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町立学校と町教育委員会が連携して行う必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 各校の部活動、授業等で専門的な知識・技能を持つ方から直接指導を受けることができた。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 指導員、協力者のご理解のもと、少ない金額で学習活動にご協力いただいている。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 今後の町立学校のコミュニティ・スクール化により、当事業の運営方法について検討が必要となる。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	地域人材の活用については、コミュニティ・スクールの検討課題の一つとなる。 部活動指導員が法的に位置づけられたため、町でも検討を行う必要がある。	

## ◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	平成30年度よりコミュニティ・スクールが導入されることと部活動指導員が法的に位置づけられたことにより、これまでの地域協力者の位置づけの見直し時期にきているため。
今後の方向性	コミュニティ・スクールの導入状況や運営状況を見ながら、ここでの位置づけに移行していく。また、部活動指導員については、法律にもとづき必要な整備を行っていく。

# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No.24)				
予算等事業名	英語教育推進事業							
目的	児童・生徒が創意あふれた学習活動を展開するために、地域教育力の活用、教材研究、各種研修会の充実、幼児期から学校教育への円滑な接続と指導法の改善に努める。							
内容	・各学校へのALTの配置及び英語検定受験の奨励							
根拠法令・条例等	二宮町英語教育推進事業実施要項、ALT活用要項 二宮町英語検定奨励金交付要綱							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか									
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施		
②、③に対する理由									

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか									
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難					
理由		小学校高学年での英語の教科化に向け、事業内容の拡充が見込まれる。							

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか									
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難					
理由		今後の小学校での英語の教科化に伴い、ALTの配置について検討を加えていく。							

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)								B
	【説明】		ALTによる授業や英語活動、英語検定奨励金等の諸事業が順調に進められているが、次年度以降の事業展開について検討が必要である。						

## 総合評価

実績	ALTによる授業や英語活動、英語検定奨励金等の諸事業が順調に進められた。							
中間評価との相違点								
事業指標(数値指標)	特になし							
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】							
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上、小学校教員の英語教科化等への対応				

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		9,662	9,472	9,733			
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 町立学校における学習活動に必要な事業のため。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町立学校における学習活動に必要な事業のため。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 ALTの各校配置等をとおして、児童生徒の英語学習、英語活動への関心を高めることができた。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 概ね順調に事業を執行できた。ALTにかかる委託料は大きいですが、教育的効果を考えると妥当な額と考える。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 成果はあがっているが、小学校高学年における英語の教科化や小中一貫教育の検討等、今後の英語教育に対応して事業の見直しを行う必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校高学年における英語の教科化に対応して教員の研修等をすすめる。</li> <li>・小中一貫教育の研究において試行するカリキュラムに対応して事業内容の見直しを行う。</li> </ul>	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	小学校5, 6年生における英語の教科化や町において小中一貫教育の研究が始まったことにより、英語科の授業の持ち方を見直すため。
今後の方向性	英語科の授業におけるALTの活用を見直すとともに、小学校教員の英語科における指導力向上のための研修を位置づける。

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No.24)				
予算等事業名	教育振興経費							
目的	児童・生徒が創意あふれた学習活動を展開するために、地域教育力の活用、教材研究、各種研修会の充実、幼児期から学校教育への円滑な接続と指導法の改善に努める。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心臓病判定</li> <li>・就学指導委員会の開催及び学校管理下における怪我に備えた保険への加入</li> <li>・水泳教室送迎バス借上</li> </ul>							
根拠法令・条例等	学校保健安全法 独立行政法人日本スポーツ振興センター法							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか									
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施		
②、③に対する理由									

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか									
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難					
理由		今年度初めて町民温水プールを利用した水泳授業を実施した。今年度の反省点と各校の意見を踏まえて、次年度以降の計画を進めていく。							

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか									
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難					
理由		水泳教室送迎バス借上については、関連部署と調整し、より効率的な実施に向けて検討を図る必要がある。							

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							B
	【説明】 学校保健等の事業は順調に進められている。水泳授業については、今後検討を重ねる必要がある。							

総合評価

実績	学校保健等の各事業が順調に進められた、また、水泳授業についても予定どおり実施することができた。								
中間評価との相違点									
事業指標(数値指標)	特になし								
中期(28年度)目標値								【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度						児童生徒の円滑な学習活動を行うとともに安心して学校生活を送るための環境整備

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		4,765	4,604	2,816			
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町立学校における学習活動、学校運営に必要な事業のため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町立学校における学習活動、学校運営に必要な事業のため。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 各種事業が着実にすすめることができた。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 水泳授業に伴う児童生徒送迎バス借上げについては、28年度の実施状況をもとに見直しを行う。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 学校保健事業等が着実にすすめられた。水泳授業の実施については、各校の意見等を参考に、よりよい実施に向けて再度検討を行う。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	水泳授業については、各校や関係部署の意見を参考にスケジュール調整を行う。 28年度から開始された運動器検診について、検診後のフォローアップの仕組みを整える。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	新たに始めた温水プールにおける水泳授業について、改善する事項があるため。		
今後の方向性	温水プールにおける水泳授業については、課題を整理し、学校との十分な調整のもと実施する。		



平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保	重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成
分野別方針	子育て・子育て、教育	実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No.24)
予算等事業名	二宮小学校教育振興経費		
目的	児童・生徒が創意あふれた学習活動を展開するために、地域教育力の活用、教材研究、各種研修会の充実、幼児期から学校教育への円滑な接続と指導法の改善に努める。		
内容	・教育効果向上に資する消耗品・備品購入等		
根拠法令・条例等	学校基本法、小学校設置基準		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている <input type="checkbox"/> ③未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	学校教育に関して経費削減に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	学校教育に関して効率化に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	【説明】 学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切に予算執行している。		

総合評価

実績	学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切に予算執行した。		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)			
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			児童生徒の教育効果の向上

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	2,427	2,383	2,038			
財源内訳	一般財源	2,427	2,383	2,038		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他					

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入については、二宮町の誇るべき点であると思われる。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入については、二宮町の誇るべき点であると思われる。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入より、家庭の経済的負担を軽減している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する備品等は、限りある予算の中である程度整備している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入については二宮町の特色であると思われるが、限られた予算の中でどのように本事業を継続していくか検討が必要と考えられる。	
今後の方針(課題・意見等を箇条書き)	義務教育課程における、町内各世帯の経済的負担の軽減は、定住促進および子育て支援の観点からも、一定程度の充実が必要と思われる。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	有効な教材の確保は、授業の精度にもつながる。授業に直結する予算であるため、限られた予算であるが、算定方法を精査するなどして、できるだけ効果のあるものにしたい。		
今後の方向性	見直し、継続。		

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課			
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成		
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No.24)		
予算等事業名	一色小学校教育振興経費					
目的	児童・生徒が創意あふれた学習活動を展開するために、地域教育力の活用、教材研究、各種研修会の充実、幼児期から学校教育への円滑な接続と指導法の改善に努める。					
内容	・教育効果向上に資する消耗品・備品購入等					
根拠法令・条例等	学校基本法、小学校設置基準					
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		学校教育に関して経費削減に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		学校教育に関して効率化に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切に予算執行している。				

総合評価

実績	学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切に予算執行した。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)					
中期(28年度)目標値				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	児童生徒の教育効果の向上	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,631	1,514	1,283			
財源内訳	一般財源	1,631	1,514	1,283			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入については、二宮町の誇るべき点であると思われる。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入については、二宮町の誇るべき点であると思われる。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入より、家庭の経済的負担を軽減している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する備品等は、限りある予算の中である程度整備している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入については二宮町の特色であると思われるが、限られた予算の中でどのように本事業を継続していくか検討が必要と考えられる。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	義務教育課程における、町内各世帯の経済的負担の軽減は、定住促進および子育て支援の観点からも、一定程度の充実が必要と思われる。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	有効な教材の確保は、授業の精度にもつながる。授業に直結する予算であるため、限られた予算であるが、算定方法を精査するなどして、できるだけ効果のあるものになりたい。
今後の方向性	見直し、継続。

# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課		
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成	
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No.24)	
予算等事業名	山西小学校教育振興経費				
目的	児童・生徒が創意あふれた学習活動を展開するために、地域教育力の活用、教材研究、各種研修会の充実、幼児期から学校教育への円滑な接続と指導法の改善に努める。				
内容	・教育効果向上に資する消耗品・備品購入等				
根拠法令・条例等	学校基本法、小学校設置基準				
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	学校教育に関して経費削減に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	学校教育に関して効率化に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】	学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切に予算執行している。			

## 総合評価

実績	学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切に予算執行した。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)					
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	児童生徒の教育効果の向上	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,862	1,831	1,513			
財源内訳	一般財源	1,862	1,831	1,513			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入については、二宮町の誇るべき点であると思われる。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入については、二宮町の誇るべき点であると思われる。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入より、家庭の経済的負担を軽減している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する備品等は、限りある予算の中である程度整備している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入については二宮町の特徴であると思われるが、限られた予算の中でどのように本事業を継続していくか検討が必要と考えられる。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	義務教育課程における、町内各世帯の経済的負担の軽減は、定住促進および子育て支援の観点からも、一定程度の充実が必要と思われる。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	有効な教材の確保は、授業の精度にもつながる。授業に直結する予算であるため、限られた予算であるが、算定方法を精査するなどして、できるだけ効果のあるものになりたい。
今後の方向性	見直し、継続。

# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No.24)				
予算等事業名	二宮中学校教育振興経費							
目的	児童・生徒が創意あふれた学習活動を展開するために、地域教育力の活用、教材研究、各種研修会の充実、幼児期から学校教育への円滑な接続と指導法の改善に努める。							
内容	・教育効果向上に資する消耗品・備品購入等							
根拠法令・条例等	学校基本法、中学校設置基準							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		学校教育に関して経費削減に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		学校教育に関して効率化に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							A
	【説明】 学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切に予算執行している。							

## 総合評価

実績	学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切に予算執行した。						
中間評価との相違点							
事業指標(数値指標)							
中期(28年度)目標値				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	児童生徒の教育効果の向上			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		3,804	3,784	2,249			
財源内訳	一般財源	3,804	3,784	2,249			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入については、二宮町の誇るべき点であると思われる。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入については、二宮町の誇るべき点であると思われる。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入より、家庭の経済的負担を軽減している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する備品等は、限りある予算の中である程度整備している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入については二宮町の特色であると思われるが、限られた予算の中でどのように本事業を継続していくか検討が必要と考えられる。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	義務教育課程における、町内各世帯の経済的負担の軽減は、定住促進および子育て支援の観点からも、一定程度の充実が必要と思われる。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	有効な教材の確保は、授業の精度にもつながる。授業に直結する予算であるため、限られた予算であるが、算定方法を精査するなどして、できるだけ効果のあるものになりたい。
今後の方向性	見直し、継続。



平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No.24)				
予算等事業名	二宮西中学校教育振興経費							
目的	児童・生徒が創意あふれた学習活動を展開するために、地域教育力の活用、教材研究、各種研修会の充実、幼児期から学校教育への円滑な接続と指導法の改善に努める。							
内容	・教育効果向上に資する消耗品・備品購入等							
根拠法令・条例等	学校基本法、中学校設置基準							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		学校教育に関して経費削減に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		学校教育に関して効率化に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			A
	【説明】 学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切に予算執行している。			

総合評価

実績	学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切に予算執行した。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)					
中期(28年度)目標値				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	児童生徒の教育効果の向上	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		3,643	3,583	2,062			
財源内訳	一般財源	3,643	3,583	2,062			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入については、二宮町の誇るべき点であると思われる。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入については、二宮町の誇るべき点であると思われる。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入より、家庭の経済的負担を軽減している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する備品等は、限りある予算の中である程度整備している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入については二宮町の特徴であると思われるが、限られた予算の中でどのように本事業を継続していくか検討が必要と考えられる。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	義務教育課程における、町内各世帯の経済的負担の軽減は、定住促進および子育て支援の観点からも、一定程度の充実が必要と思われる。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	有効な教材の確保は、授業の精度にもつながる。授業に直結する予算であるため、限られた予算であるが、算定方法を精査するなどして、できるだけ効果のあるものになりたい。
今後の方向性	見直し、継続。

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No.24)				
予算等事業名	学校図書館推進事業							
目的	児童・生徒が創意あふれた学習活動を展開するために、地域教育力の活用、教材研究、各種研修会の充実、幼児期から学校教育への円滑な接続と指導法の改善に努める。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施</li> <li>・学校図書館システム(現状機器の維持管理・次期システムの検討)</li> </ul>							
根拠法令・条例等	学校図書館法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		学校図書館指導員については必要最低限の配置時間としており、削減は難しい。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		指導員の配置、図書館蔵書管理システム等、現状考え得る効率化対策を実施している。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 引き続き学校図書館を充実させていくため必要な業務に取り組んでいく。				

総合評価

実績	指導員の配置、蔵書管理システムの運用等とおして、円滑な学校図書館の運営を行うことができた。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	特になし				
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	学校図書館の円滑な運営と読書活動の推進	

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		3,506	3,500	3,572			
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 町立学校における学習活動に必要な事業のため。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町立学校における学習活動に必要な事業のため。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 各校で活発な読書活動が展開されているが、中学校の貸出冊数が少ない。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 指導員は必要最小限の配置時間としており、蔵書管理システムも再リリースにより効率的に運用して	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 <b>読書活動や調べもの学習等で有効に活用されており、引き続き必要な環境整備に努める。</b>	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	蔵書管理システムは再リリースを行っており、今後、機器更新の検討を開始する。 中学校の図書貸出冊数が少ないため、各校の読書活動の強化を図る。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	学校と各校に配置している図書館指導員が連携し、有効な取組みができています。各校、特色のある学校図書館づくりができています。		
今後の方向性	継続。		

# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No.24)				
予算等事業名	学校間ネットワーク推進事業							
目的	児童・生徒が創意あふれた学習活動を展開するために、地域教育力の活用、教材研究、各種研修会の充実、幼児期から学校教育への円滑な接続と指導法の改善に努める。							
内容	・現状機器の維持管理							
根拠法令 ・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	本事業で実施している機器借上げは長期継続契約中であるため、契約中の見直しは困難である。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	本事業で実施している機器借上げは長期継続契約中であるため、契約中の見直しは困難である。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		B
	【説明】 本事業で実施している機器借上げは長期継続契約中であり、適切に管理・使用されている。		

## 総合評価

実績	本事業で実施している機器借上げは長期継続契約中であり、適切に管理・使用されている。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	0				
前期(27年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	学校間ネットワークの適切な維持管理活用。	

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		12,895	12,895	12,895			
財源内訳	一般財源	12,895	12,895	12,895			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	B
	【説明】 学校における業務等の効率化と防犯カメラを用いた不審者対策を目的に導入し運用している。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	B
	【説明】 県費負担教職員が適正に業務を行える機器を安定して運用する必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 教育関係のネットワークを構築し運用することで、業務の効率化等に一定の成果を上げている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 一般競争入札を実施し、適切な費用で更新を実施している。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 平成26年度に導入した機器・環境を適正に維持管理し、活用したい。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	平成26年度中に機器の更新およびネットワークの拡充を行うことができた。今後は、適切な維持管理と活用に向けていきたい。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	平成26年度にシステムの更新を行ったので、当面、適切な管理、運用を進める。		
今後の方向性	継続。		

# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No.24)				
予算等事業名	小学校教育用コンピューター整備事業							
目的	児童・生徒が創意あふれた学習活動を展開するために、地域教育力の活用、教材研究、各種研修会の充実、幼児期から学校教育への円滑な接続と指導法の改善に努める。							
内容	・現状機器の維持管理							
根拠法令・条例等	学校教育法、小学校施設整備指針							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	今後は、パソコン教室以外の教室にもICT環境の整備を推進していく必要があり、より一層の経費が必要になることが見込まれる。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	今後、授業へのICT環境整備を推進することで効率的かつ質の高い授業を展開していくことが期待される。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		B
	【説明】 現状は、パソコン教室を中心とした整備にとどまっている教育用コンピューターについて、効率的かつ魅力ある授業づくりを推進していくため総合的かつ計画的に整備していく。		

## 総合評価

実績	現状は、パソコン教室を中心とした整備にとどまっている教育用コンピューターについて、効率的かつ魅力ある授業づくりを推進していくため総合的かつ計画的に整備していく。		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)			
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		4,402	4,402	2,486			
財源内訳	一般財源	4,402	4,402	2,486			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 児童生徒が安心して教育を受けることができる環境を整えている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 現在の長期継続契約を締結した際の入札手法は、スケールメリットを活かした内容といえる。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 法令に基づき、学校施設整備については地方公共団体の義務である。長期継続契約が、平成28年8月末で終了したことから、更新に向けて検討していく必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	長期継続契約が、平成28年8月末で終了したことから、更新に検討していく必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	長期継続契約が、平成28年8月末で終了したことから、更新に検討していく必要がある。
今後の方向性	更新内容、更新時期の検討



# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No.24)				
予算等事業名	中学校教育用コンピューター整備事業							
目的	児童・生徒が創意あふれた学習活動を展開するために、地域教育力の活用、教材研究、各種研修会の充実、幼児期から学校教育への円滑な接続と指導法の改善に努める。							
内容	・現状機器の維持管理							
根拠法令・条例等	学校教育法、中学校施設整備指針							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	今後は、パソコン教室以外の教室にもICT環境の整備を推進していく必要があり、より一層の経費が必要になることが見込まれる。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	今後、授業へのICT環境整備を推進することで効率的かつ質の高い授業を展開していくことが期待される。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		B
	【説明】 現状は、パソコン教室を中心とした整備にとどまっている教育用コンピューターについて、効率的かつ魅力ある授業づくりを推進していくため総合的かつ計画的に整備していく。		

## 総合評価

実績	現状は、パソコン教室を中心とした整備にとどまっている教育用コンピューターについて、効率的かつ魅力ある授業づくりを推進していくため総合的かつ計画的に整備していく。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)					
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		2,815	2,814	1,452			
財源内訳	一般財源	2,815	2,814	1,452			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 児童生徒が安心して教育を受けることができる環境を整えている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 現在の長期継続契約を締結した際の入札手法は、スケールメリットを活かした内容といえる。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 法令に基づき、学校施設整備については地方公共団体の義務である。長期継続契約が、平成28年8月末で終了したことから、更新に向けて検討していく必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	長期継続契約が、平成28年8月末で終了したことから、更新に検討していく必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	長期継続契約が、平成28年8月末で終了したことから、更新に検討していく必要がある。
今後の方向性	更新内容、更新時期の検討。

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No.24)				
予算等事業名	要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業							
目的	教育基本法に基づき、経済的理由により就学困難な家庭に対して義務教育費の一部を助成する。							
内容	経済的な支援を必要とする家庭に対して、義務教育費の一部を助成する。							
根拠法令・条例等	教育基本法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか									
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施		
②、③に対する理由									

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか									
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難					
理由		事業の性質上、経費削減に重点を置くことは難しいが、実績や見通し等を勘案し、予算計上額をより精査することは可能と思われる。							

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか									
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難					
理由		事業の性質上、効率化に重点を置くことは難しい。							

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)								A
	【説明】 法令等に則り、適切に事業を進めている。								

総合評価

実績	要保護認定者数:14人 準要保護認定者数:182人								
中間評価との相違点									
事業指標(数値指標)								【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
中期(28年度)目標値									
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	経済的に就学困難な家庭に対して、義務教育にかかる費用を助成する。					

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		14,562	14,084	16,145			
財源内訳	一般財源	14,500	14,056	15,994			
	国庫支出金	62	28	151			
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 学校教育法第19条および教育基本法第4条による。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 学校教育法第19条および教育基本法第4条による。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 経済的に就学困難な家庭に対して、義務教育にかかる費用を助成している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 適正な認定作業により、適切に実施している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 法令等に則り、適切に実施している。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	今後も法令等に則り、適切に実施していく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	法律に基づき実施されているもので、支援を必要とする児童・生徒及び保護者に対し、有効な制度である。		
今後の方向性	継続。		

# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No.24)				
予算等事業名	特別支援学級児童生徒支援事業							
目的	教育基本法に基づき、経済的理由により就学困難な家庭に対して義務教育費の一部を助成する。							
内容	健康診断等の実施により、児童の健康管理につとめる。							
根拠法令・条例等	教育基本法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか									
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施		
②、③に対する理由									

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか									
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難					
理由		事業の性質上、経費削減に重点を置くことは難しいが、実績や見通し等を勘案し、予算計上額をより精査することは可能と思われる。							

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか									
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難					
理由		事業の性質上、効率化に重点を置くことは難しい。							

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)								A
	【説明】		法令等に則り、適切に事業を進めている。						

## 総合評価

実績								
中間評価との相違点								
事業指標(数値指標)								
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】							
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度					

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		795	708	943			
財源内訳	一般財源	545	363	614			
	国庫支出金	250	345	329			
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 学校教育法第19条および教育基本法第4条による。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 学校教育法第19条および教育基本法第4条による。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 特別支援学級に就学する児童生徒の家庭に対して、その負担能力に応じて教育にかかる費用を助成している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 適正な認定作業により、適切に実施している。	
総合評価	A:妥当性・有効性・効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 法令等に則り、適切に実施している。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)		

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	法律に基づき実施されているもので、有効な制度である。		
今後の方向性	継続。		

# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No.24)				
予算等事業名	小学校共通児童健康管理経費							
目的	児童・生徒が創意あふれた学習活動を展開するために、地域教育力の活用、教材研究、各種研修会の充実、幼児期から学校教育への円滑な接続と指導法の改善に努める。							
内容	・健康診断の実施							
根拠法令・条例等	学校保健安全法							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	定期健康診断等、円滑に実施されている。				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	法令に基づき健康診断等を実施しているため。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	法令に基づき健康診断等を実施しているため。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	【説明】	法令に基づき、着実に事業を展開している。	

## 総合評価

実績	法令に基づき、着実に事業を展開した。		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)			
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	法令に基づき実施する事業のため、目標数値の設定は困難である。		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		4,146	4,011	4,126			
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 法令に基づき実施している。	
NI		A
	【説明】 法令に基づき実施している。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 法令にもとづき実施しており、児童の健康管理に活用している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 法令に基づき着実に実施している。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 法令に基づき実施しており、引き続き着実に事業を執行していく。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	各校と連携して各種検診の日程調整を行い実施していく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	法律に基づき実施しているものである。		
今後の方向性	継続。		



# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No.24)				
予算等事業名	中学校共通生徒健康管理経費							
目的	児童・生徒が創意あふれた学習活動を展開するために、地域教育力の活用、教材研究、各種研修会の充実、幼児期から学校教育への円滑な接続と指導法の改善に努める。							
内容	・健康診断の実施							
根拠法令・条例等	学校保健安全法							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	定期健康診断等、円滑に実施されている。				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	法令に基づき健康診断等を実施しているため。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	法令に基づき健康診断等を実施しているため。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	【説明】 法令に基づき、着実に事業を展開している。		

## 総合評価

実績	法令に基づき、着実に事業を展開した。		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)			
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	法令に基づき実施する事業のため、目標数値の設定は困難である。		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		2,876	2,604	2,856			
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 法令に基づき実施している。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 法令に基づき実施している。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 法令にもとづき実施しており、生徒の健康管理に活用している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 法令に基づき着実に実施している。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 法令に基づき実施しており、引き続き着実に事業を執行していく。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	各校と連携して各種検診の日程調整を行い実施していく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	法律に基づき実施しているものである。		
今後の方向性	継続。		

# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No.24)				
予算等事業名	教育研究所経費							
目的	児童・生徒が創意あふれた学習活動を展開するために、地域教育力の活用、教材研究、各種研修会の充実、幼児期から学校教育への円滑な接続と指導法の改善に努める。							
内容	・教育に関する研究活動、研究会の開催、社会科副読本編集発行、幼稚園・保育園・小学校の連携に関する諸事業の企画、実施							
根拠法令・条例等	二宮町教育研究所設置条例							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		必要最低限の経費で事業を運営しているため。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		学校現場のニーズをとらえて講演会の内容等を見直ししていく。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							A
	【説明】 指導員による訪問指導など、授業力向上にむけた事業を着実に展開している。							

## 総合評価

実績	指導員による訪問指導など、授業力向上にむけた事業を着実に展開することができた。							
中間評価との相違点								
事業指標(数値指標)	特になし							
中期(28年度)目標値								【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	教員の指導力向上				

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,842	1,760	1,826			
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 法令に基づき設置しているため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 法令に基づき設置しているため。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 指導員による訪問指導等で、教員の授業力向上に寄与している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 必要最小限の経費で事業を行っている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 学校現場ではベテランと若手の二極化が進んでおり、若手教員を直接指導する中堅教員が少ない。研究所の指導、研修事業が貴重な機会となっている。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	引き続き研究所の訪問指導、研修事業の充実を図る。 コミュニティ・スクール導入検討、小中一貫教育の検討等、基礎資料ならびに情報収集にあたる。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持 <input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	法律に基づき、必要な機関として設置しているものである。平成27年度から配置した指導員と指導主事が連携も軌道にのり、教員の研修等に効果が認められる。また学力状況調査の分析や小中一貫教育検討のための研究資料づくりにも成果が認められる。
今後の方向性	継続。

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	コミュニティ・スクール導入促進事業(No.25)				
予算等事業名	コミュニティ・スクール導入促進事業							
目的	地域とともにある学校づくりの手法の一つとして、コミュニティ・スクールの導入促進を図る。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会</li> <li>・コミュニティ・スクール導入検討(研究会、準備委員会の開催)</li> </ul>							
根拠法令 ・条例等								
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		国、県から委託金を受けて事業を実施しており、補助額に見合った研究を計画的にすすめている。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		学校現場の意見を参考にしながら、効率的に研究を進めていく。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		B
	【説明】 一般町民向けに情報提供を早急に行う必要がある。		

総合評価

実績	一般町民向けに情報提供を早急に行う必要がある。		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)	特になし		
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	コミュニティ・スクールの指定に向けた組織体系の整備		

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		202	132	267			
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 国、県の補助を受けて実施している。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 国、県の補助を受けて実施している。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 準備委員会においてコミュニティ・スクールに対する共通理解を図ることはできたが、一般町民への情報発信に課題が残った。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 国、県の補助に基づいて事業執行している。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 準備委員会等で活発な意見交換を行ったが、よりいっそう一般町民への情報発信を行う必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	学校運営協議会の設置に向け、引き続き準備委員会における検討をすすめていく。 コミュニティ・スクールへの理解が深まるよう、一般町民向けリーフレットを作成する。 平成30年1月に、PTA連絡協議会と共催で(仮称)コミュニティ・スクールフォーラムを開催し、コミュニティ・スクールについて啓発を行う。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	地域にける協力体制についての理解が深まらない状況があるため。
今後の方向性	コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について、地域の理解を深めてもらうための具体的な取り組みを行うとともに、協議会設置のための規則等の整備を行う。

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課		
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保	重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成		
分野別方針	子育て・子育て、教育	実施計画事業	-		
予算等事業名	将来を見据えた学校のあり方検討(小中一貫教育)				
目的	小中一貫教育の導入に関する検討をすすめる				
内容	・小中一貫教育について教育委員会における考え方、方向性を整理する				
根拠法令 ・条例等					
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		次年度以降、事業を開始するため。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		新規事業のため。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				B
	【説明】 小中一貫教育について教育委員会における考え方、方向性を整理したため、次年度より具体的な検討を開始する。				

総合評価

実績	小中一貫教育導入の検討にあたって必要となる教育委員会における考え方、方向性を整うことができた。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	特になし				
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	町の学校教育の将来像の検討。	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費							
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町の将来の学校教育全般について検討するため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町の将来の学校教育全般について検討するため。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 将来の学校のあり方を検討する基本的な考え方を整理した。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 より具体的な検討は今後本格化していくため、現時点ではあまり経費がかかっている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 小中一貫教育導入の検討にあたって必要となる教育委員会における考え方、方向性を整えることができた。次年度以降本格的な検討を行う。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	小中一貫教育推進検討協議会の立ち上げ、小中一貫教育のカリキュラム研究を行う。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	小中一貫教育校の導入検討について、平成28年度は検討の方向性について整理を行った。平成29年度以降、これに基づき検討を進める。		
今後の方向性	校長等による内部検討会を設置し、小中一貫教育のあり方と学校配置について検討を行うとともに、県のモデル校事業を活用し、乗り入れ授業や小中一貫カリキュラムの作成について研究を進め、二宮町の小中一貫教育導入に向けた計画づくりを行う。		



# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	支援教育推進事業(No.26)				
予算等事業名	支援教育推進事業							
目的	学校・家庭・関係機関等との連携のもと支援体制を整え、一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、その持てる力や個性を伸ばす教育を進める。							
内容	・支援教育補助員の各校への配置							
根拠法令 ・条例等								
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		児童生徒数は減少しているものの、支援を必要としている子どもは増加している。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		各校の状況、要望を把握したうえで適切な人員配置を図る。			

中間 評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	【説明】 今年度から中学校へも支援教育補助員を配置し、支援体制の強化を図っている。		

## 総合評価

実績	従前の小学校に加え、中学校にも支援教育補助員を配置し、支援体制の強化を図った。		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)	特になし		
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	児童生徒の充実した学習活動を安心して学校生活を送るための環境整備を行う。		

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		19,320	18,341	19,716			
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 町立学校の教育活動の一環として行っている。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町立学校の教育活動の一環として行っている。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 支援の必要な児童生徒はもちろん、周りの児童生徒も落ち着いて学校生活を送ることができる。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 各校の実情に合わせて支援教育補助員の配置を行っている。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 平成28年度から中学校へも支援教育補助員の配置を行い、支援教育の寿実を図ることができた。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	支援教育補助員の配置については、児童生徒、保護者から多くの要望が寄せられており、引き続き他事業とのバランスをとりながら充実させていく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	支援が必要な児童・生徒が増加し教員への負担が増しているものの、支援教育補助員の配置等により、一定の支援が行われている。		
今後の方向性	継続支援が必要な児童・生徒が身近な地域で教育を受けることが重視されている中、小中学校における支援教育の役割は重要性を増している。一方で町単独で事業を充実させていくことには限界もあり、現状を維持する中で、関係機関の力も借りながら、よりよい支援について検討を重ねていく必要がある。		

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	教育相談・教育支援室事業(No.27)				
予算等事業名	教育相談・教育支援室事業							
目的	電話や来訪による学業上の悩みについて教育相談する。心の悩みのために学校に行けない・行かない児童生徒に対して指導を行い原籍校へ復帰を図る。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>心理士、スクールソーシャルワーカー等による教育相談</li> <li>不登校児童・生徒への支援による原籍校への復帰を促す</li> </ul>							
根拠法令・条例等	二宮町教育研究所設置条例							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	スクールソーシャルワーカーや心理教育相談員等、外部の専門的知識のある方の必要性が増しており、経費の削減は難しい。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	児童生徒、保護者、学校のニーズに応じ柔軟なチーム支援体制を構築することで効率的な事業運営が可能となる。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 課題を抱えた児童生徒、保護者に対して多方面からかかわりを持ち、問題解決に取り組んでいる。	

総合評価

実績	心理教育相談員、スクールソーシャルワーカーによる相談体制を強化することで、課題を抱えた児童生徒、保護者に対して多方面からかかわりを持ち、問題解決に取り組んでいる。		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)	特になし		
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	教育相談体制の強化		

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		4,766	4,742	4,742			
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町教育委員会の事業であるため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町教育委員会の事業であるため。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 スクールソーシャルワーカーの業務内容について、より一層の認知度向上を図る必要がある。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 専門職である心理士、スクールソーシャルワーカーについて、一般的な報酬よりも低廉な額で業務を行っていただいている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 <b>相談体制の強化を図ることができた。また、教育支援室においては、新たな学習活動を立案実行した。</b>	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	長年活動してきた2名の心理教育相談員が交代することになったため、円滑に業務引き継ぎを行える体制づくりに努める。 学校、教育支援室、心理教育相談員、SSW、関係機関等がより一層連携できるよう、体制強化を図る。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	スクール・ソーシャル・ワーカーを導入してから2年が経過し、中学校においては一定の成果が見られるものの、小学校には及んでいない。またスクール・ソーシャル・ワーカーへの教員の理解も十分でない。増加し、複雑化する相談ケースに迅速かつ的確に対応するため、学校との連携と強化するとともに、スクール・ソーシャル・ワーカーや臨床心理士などの専門職を有効に活用する必要がある。		
今後の方向性	見直し、拡充: スクール・ソーシャル・ワーカーや心理教育相談員(心理士)の配置、体制の見直しを行い、新たな相談体制によるチームで対応について、学校への普及を図る。		

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課	
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成
分野別方針	子育て・子育ち、教育		実施計画事業	教育施設整備事業(No.28)
予算等事業名	二宮小学校教育施設整備事業			
目的	学校施設改修及び備品の購入を行い、教育環境の整備につとめる。			
内容	・施設維持活用のための整備(工事修繕、備品購入)			
根拠法令・条例等	学校教育法			
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input checked="" type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		計画的な施設および設備整備を実施していけば中長期的には経費削減に繋がると考えられる。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		計画的な施設および設備整備を実施していけば中長期的には経費削減に繋がると考えられる。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			A
	【説明】 適切に執行できている。			

総合評価

実績	適切に執行した。			
中間評価との相違点				
事業指標(数値指標)				
中期(28年度)目標値			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	安全安心な学校施設の維持整備

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		879	878	4,422			
財源内訳	一般財源	879	878	4,422			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 児童生徒が安心して教育を受けることができる環境を整えている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 学校教育に関して効率性に重点をおいて評価するのは馴染まないが、適切に運営されている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 施設及び備品関係の老朽化に対応していく必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	施設及び備品関係の老朽化に対応していく必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	当面は、施設の状況に応じて、優先順位を付けながら対応する。		
今後の方向性	継続。		

# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	教育施設整備事業(No.28)				
予算等事業名	一色小学校教育施設整備事業							
目的	学校施設改修及び備品の購入を行い、教育環境の整備につとめる。							
内容	・施設維持活用のための整備(工事修繕、備品購入)							
根拠法令・条例等	学校教育法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		計画的な施設および設備整備を実施していけば中長期的には経費削減に繋がると考えられる。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		計画的な施設および設備整備を実施していけば中長期的には経費削減に繋がると考えられる。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 適切に執行できている。				

## 総合評価

実績	適切に執行した。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)					
中期(28年度)目標値			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	安全安心な学校施設の維持整備	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		262	210	3,262			
財 源 内 訳	一般財源	262	210	3,262			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 児童生徒が安心して教育を受けることができる環境を整えている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 学校教育に関して効率性に重点をおいて評価するのは馴染まないが、適切に運営されている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 施設及び備品関係の老朽化に対応していく必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	施設及び備品関係の老朽化に対応していく必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	当面は、施設の状況に応じて、優先順位を付けながら対応する。		
今後の方向性	継続。		



# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	教育施設整備事業(No.28)				
予算等事業名	山西小学校教育施設整備事業							
目的	学校施設改修及び備品の購入を行い、教育環境の整備につとめる。							
内容	・施設維持活用のための整備(工事修繕、備品購入)							
根拠法令・条例等	学校教育法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		計画的な施設および設備整備を実施していけば中長期的には経費削減に繋がると考えられる。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		計画的な施設および設備整備を実施していけば中長期的には経費削減に繋がると考えられる。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 適切に執行できている。				

## 総合評価

実績	適切に執行した。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)					
中期(28年度)目標値			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	安全安心な学校施設の維持整備	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		20,006	19,954	3,904			
財 源 内 訳	一般財源	20,006	19,954	3,904			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 児童生徒が安心して教育を受けることができる環境を整えている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 学校教育に関して効率性に重点をおいて評価するのは馴染まないが、適切に運営されている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 施設及び備品関係の老朽化に対応していく必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	施設及び備品関係の老朽化に対応していく必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	当面は、施設の状況に応じて、優先順位を付けながら対応する。		
今後の方向性	継続。		

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	教育施設整備事業(No.28)				
予算等事業名	二宮中学校教育施設整備事業							
目的	学校施設改修及び備品の購入を行い、教育環境の整備につとめる。							
内容	・施設維持活用のための整備(工事修繕、備品購入)							
根拠法令・条例等	学校教育法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		計画的な施設および設備整備を実施していけば中長期的には経費削減に繋がると考えられる。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		計画的な施設および設備整備を実施していけば中長期的には経費削減に繋がると考えられる。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 適切に執行できている。				

総合評価

実績	適切に執行した。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)					
中期(28年度)目標値			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	安全安心な学校施設の維持整備	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		375	367	5,484			
財 源 内 訳	一般財源	375	367	5,484			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 児童生徒が安心して教育を受けることができる環境を整えている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 学校教育に関して効率性に重点をおいて評価するのは馴染まないが、適切に運営されている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 施設及び備品関係の老朽化に対応していく必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	施設及び備品関係の老朽化に対応していく必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	当面は、施設の状況に応じて、優先順位を付けながら対応する。		
今後の方向性	継続。		

# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	教育施設整備事業(No.28)				
予算等事業名	二宮西中学校教育施設整備事業							
目的	学校施設改修及び備品の購入を行い、教育環境の整備につとめる。							
内容	・施設維持活用のための整備(工事修繕、備品購入)							
根拠法令・条例等	学校教育法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		計画的な施設および設備整備を実施していけば中長期的には経費削減に繋がると考えられる。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		計画的な施設および設備整備を実施していけば中長期的には経費削減に繋がると考えられる。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 適切に執行できている。				

## 総合評価

実績	適切に執行した。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)					
中期(28年度)目標値			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	安全安心な学校施設の維持整備	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		268	196	6,104			
財 源 内 訳	一般財源	268	196	6,104			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 児童生徒が安心して教育を受けることができる環境を整えている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 学校教育に関して効率性に重点をおいて評価するのは馴染まないが、適切に運営されている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 施設及び備品関係の老朽化に対応していく必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	施設及び備品関係の老朽化に対応していく必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	当面は、施設の状況に応じて、優先順位を付けながら対応する。		
今後の方向性	継続。		

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	教育施設整備事業(No.28)				
予算等事業名	二宮小学校施設管理運営経費							
目的	学校施設改修及び備品の購入を行い、教育環境の整備につとめる。							
内容	・施設管理運営							
根拠法令・条例等	学校教育法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		学校教育に関して経費削減に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		学校教育に関して経費削減に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							A
	【説明】 学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切に予算執行している。							

総合評価

実績	学校の施設管理運営について、必要は経費を適切に予算執行した。						
中間評価との相違点							
事業指標(数値指標)							
中期(28年度)目標値				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	学校を適切に運営し、安心して教育を受けることができる環境を作る。			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		2,859	2,699	2,797			
財 源 内 訳	一般財源	2,859	2,699	2,797			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 児童生徒が安心して教育を受けることができる環境を整えている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 学校教育に関して効率性に重点をおいて評価するのは馴染まないが、適切に運営されている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切な予算措置を行う必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切な予算措置を行う必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	経常的な経費であるが、限られた予算の中、さらに適切な予算執行に努める。		
今後の方向性	予算の内容を精査。		



平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	教育施設整備事業(No.28)				
予算等事業名	一色小学校施設管理運営経費							
目的	学校施設改修及び備品の購入を行い、教育環境の整備につとめる。							
内容	・施設管理運営							
根拠法令・条例等	学校教育法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		学校教育に関して経費削減に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		学校教育に関して経費削減に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							A
	【説明】 学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切に予算執行している。							

総合評価

実績									
中間評価との相違点	学校の施設管理運営について、必要は経費を適切に予算執行した。								
事業指標(数値指標)									
中期(28年度)目標値				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】					
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	学校を適切に運営し、安心して教育を受けることができる環境を作る。					

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,749	1,673	1,728			
財源内訳	一般財源	1,749	1,673	1,728			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 児童生徒が安心して教育を受けることができる環境を整えている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 学校教育に関して効率性に重点をおいて評価するのは馴染まないが、適切に運営されている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切な予算措置を行う必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切な予算措置を行う必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	経常的な経費であるが、限られた予算の中、さらに適切な予算執行に努める。		
今後の方向性	予算の内容を精査。		

# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	教育施設整備事業(No.28)				
予算等事業名	山西小学校施設管理運営経費							
目的	学校施設改修及び備品の購入を行い、教育環境の整備につとめる。							
内容	・施設管理運営							
根拠法令・条例等	学校教育法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		学校教育に関して経費削減に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		学校教育に関して経費削減に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							A
	【説明】 学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切に予算執行している。							

## 総合評価

実績	学校の施設管理運営について、必要は経費を適切に予算執行した。							
中間評価との相違点								
事業指標(数値指標)								
中期(28年度)目標値				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	学校を適切に運営し、安心して教育を受けることができる環境を作る。				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		2,054	1,850	2,046			
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 児童生徒が安心して教育を受けることができる環境を整えている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 学校教育に関して効率性に重点をおいて評価するのは馴染まないが、適切に運営されている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切な予算措置を行う必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切な予算措置を行う必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	経常的な経費であるが、限られた予算の中、さらに適切な予算執行に努める。		
今後の方向性	予算の内容を精査。		

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	教育施設整備事業(No.28)				
予算等事業名	二宮中学校施設管理運営経費							
目的	学校施設改修及び備品の購入を行い、教育環境の整備につとめる。							
内容	・施設管理運営							
根拠法令・条例等	学校教育法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		学校教育に関して経費削減に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		学校教育に関して経費削減に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							A
	【説明】 学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切に予算執行している。							

総合評価

実績	学校の施設管理運営について、必要は経費を適切に予算執行した。							
中間評価との相違点								
事業指標(数値指標)								
中期(28年度)目標値				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	学校を適切に運営し、安心して教育を受けることができる環境を作る。				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		2,599	2,391	2,520			
財 源 内 訳	一般財源	2,599	2,391	2,520			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 児童生徒が安心して教育を受けることができる環境を整えている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 学校教育に関して効率性に重点をおいて評価するのは馴染まないが、適切に運営されている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切な予算措置を行う必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切な予算措置を行う必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	経常的な経費であるが、限られた予算の中、さらに適切な予算執行に努める。		
今後の方向性	予算の内容を精査。		

# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	教育施設整備事業(No.28)				
予算等事業名	二宮西中学校施設管理運営経費							
目的	学校施設改修及び備品の購入を行い、教育環境の整備につとめる。							
内容	・施設管理運営							
根拠法令・条例等	学校教育法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		学校教育に関して経費削減に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		学校教育に関して経費削減に重点を置くことは馴染まないが、適切に運営されている。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							A
	【説明】 学校の運営について、二宮町における教育に対する考え方を元に、適切に予算執行している。							

## 総合評価

実績	学校の施設管理運営について、必要は経費を適切に予算執行した。							
中間評価との相違点								
事業指標(数値指標)								
中期(28年度)目標値				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	学校を適切に運営し、安心して教育を受けることができる環境を作る。				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		2,504	2,431	2,401			
財 源 内 訳	一般財源	2,504	2,431	2,401			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 学校教育法第5条による。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 児童生徒が安心して教育を受けることができる環境を整えている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 学校教育に関して効率性に重点をおいて評価するのは馴染まないが、適切に運営されている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 施設及び備品関係の老朽化に対応していく必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	施設及び備品関係の老朽化に対応していく必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	当面は、施設の状況に応じて、優先順位を付けながら対応する。		
今後の方向性	継続。		



# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	教育施設整備事業(No.28)				
予算等事業名	学校給食施設管理運営経費							
目的	施設の管理を通して、学校給食業務の環境の充実を図る。							
内容	給食センター施設設備の適切な維持管理を行う。							
根拠法令・条例等	学校給食法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		委託等は、既に入札を実施し経費削減に取り組んでおり、現状以上の削減が難しいと思われる。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		委託等を入札に付すなど、効率化は既に積極的に行っているため。また、敷地内にオーリーブを植える予定がある事から、この管理に要する経費等が未知数であるため。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							A
	【説明】 児童生徒に安心安全でおいしい給食を確実に提供できており、平成26年度後半においても引き続き事業を推進する。							

## 総合評価

実績	児童生徒に安心安全でおいしい給食を確実に提供することができた。							
中間評価との相違点								
事業指標(数値指標)								
中期(28年度)目標値				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	安心安全でおいしい給食を児童生徒に提供する。				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		30,879	30,069	32,747			
財源内訳	一般財源	30,879	30,069	32,747			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 学校給食法第11条による。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 現学校給食センター建設時に、町直営方式で運営するという方向性の中で実施している。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 町立小中学校に通う児童生徒に安心安全でおいしい給食を提供できている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 保守点検委託については、入札を実施する等し、適切に実施している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 学校給食を適切に管理運営し、町立小中学校に通う児童生徒に安心安全でおいしい給食を提供できている。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	建設から10年また15年後を目途に、施設設備の全般的な改修等を検討していく必要があると思われる。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	安全・安心な給食の提供において、成果をあげている。		
今後の方向性	継続。		

# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	学校・地域連携事業(No.29)				
予算等事業名	児童・生徒安全対策事業							
目的	児童・生徒の日常的な防災意識の高揚と災害時の完全確保を図るため、地域との連携を強化する。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールガードリーダーによる登校児童の見守り活動</li> <li>・災害用備蓄品の整備</li> </ul>							
根拠法令・条例等								
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	スクールガードリーダーの配置等、次年度に向けた見直しを進めている。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	町の防犯対策部署や警察等の関係機関との連携を進め、効率的かつ効果的な児童生徒の安全対策の検討を進めていく。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		B
	【説明】 児童生徒の防犯体制について、引き続き検討が必要である。災害対策として、災害時備蓄品の整備は着実に進めている。		

## 総合評価

実績	児童生徒の防犯体制については、見守りを行う団体が多数協力していただいている状況もありスクールガードリーダーを廃止した。災害用備蓄品の整備は着実に実施することができた。		
中間評価との相違点	検討の結果、スクールガードリーダーの制度を廃止し、協力団体との連携をより一層深めていくこととした。		
事業指標(数値指標)	特になし		
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	児童生徒の防犯体制、ならびに災害時への備えの強化		

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	494	387	2,218			
財源内訳	494	387	2,218			
一般財源						
国庫支出金						
県支出金						
その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 児童生徒の安全にかかわる事項のため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 児童生徒の安全にかかわる事項のため。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 防犯体制の強化は引き続き検討を続けていく。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 適切な予算執行に努めている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 スクールガードリーダーの廃止に伴い、地域や各団体との協力体制を維持、発展させていくための仕組みづくりについて、各校と検討する必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	児童生徒の見守りについて、コミュニティ・スクール導入後の体制を検討していく。 通学路交通安全プログラムについて、関係部署との合同点検実施までには至らなかった。点検、改善を円滑に実施できるよう、実施体制を整える。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	児童生徒の見守りについて、地域の様々な方々の協力が得られており、スクールガードリーダーの位置づけを含め、見守りのあり方について再検討する必要があるため。
今後の方向性	スクールガードリーダーについては廃止し、今後のコミュニティ・スクールの導入を踏まえ、見守りのあり方を検討する。

# 平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成				
分野別方針	子育て・子育て、教育		実施計画事業	学校・地域連携事業 (No.29)				
予算等事業名	教育委員経費							
目的	地方公共団体の教育全般に関する内容を管理執行する。							
内容	原則として、月1回、定例教育委員会議を行い、学校教育及び社会教育等について審議する。							
根拠法令・条例等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		事業の性質上、計画通りに進捗がする事が望ましいと考えられる。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		事業の性質上、計画通りに進捗がする事が望ましいと考えられる。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							A
	【説明】 事業の性質上、今年度については、計画通りに進捗がする事が望ましいと考えられる。							

## 総合評価

実績	定例会、月1回開催(年間12回開催)						
中間評価との相違点							
事業指標(数値指標)	定例会 月1回実施						
中期(28年度)目標値	定例会 月1回実施						
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】 条例規則等では、開催回数の定めはないが、慣例として定例会は月1回実施している。			
	12	12					

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,556	1,547	1,550			
財源内訳	一般財源	1,556	1,547	1,550			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 二宮町における教育全般に関する内容を管理執行するため	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 二宮町における教育全般に関する内容を管理執行するため	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 二宮町における教育全般に関する内容を適切に管理執行している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 適切な費用で二宮町における教育全般に関する内容を管理執行している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 法令等に則り、適切に実施している。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	引き続き適切に対応していく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止			
理由	改正された法令に基づき、平成27年4月1日より新制度に移行した。		
今後の方向性	新制度の体制で継続。		